

## 診療情報を集めて行う臨床研究に関するお知らせとお願い

熊本機能病院 総合リハビリテーション部では、「大腿骨頸部骨密度および血中 25(OH)D 濃度と大腿骨近位部骨折術後の FIM 利得の関連について」の研究に取り組んでいます。

### 研究の概要

大腿骨近位部骨折（足の付け根の骨折）は、自分で歩いて移動する能力や生活の機能を低下させるだけでなく、生命にも関係すると言われていています。2012 年の大腿骨近位部骨折の発生件数は 175,700 人であり、発生数は年々増加して社会的に大きな課題となっています。

大腿骨近位部骨折を引き起こす原因として、骨粗しょう症による骨密度の低下が挙げられます。また、骨密度や体内のビタミン D 充足度は筋肉量や転倒とも関連していると言われています。

そこで、今後の骨折予防に役立てるために、骨密度や体内のビタミン D 充足度が、大腿骨近位部骨折の手術後の身体機能の回復にどの程度影響しているかを調査することにしました。

### 対象となる方

熊本機能病院に入院し、大腿骨近位部骨折の手術を当院で施行した患者さんを対象とします。

### 対象調査期間

2022 年 7 月 1 日 ～ 2023 年 10 月 31 日

利用を開始する予定日

2024年3月12日から

研究期間

臨床研究実施許可日 ～ 2025年3月31日

利用する診療情報

性別、年齢、術式、術後在院日数、運動機能的自立度評価表（FIM）利得、大腿骨頸部骨密度、血中 25（OH）D 濃度を電子カルテより抽出(個人を特定できる情報は含まない)します。

研究機関の名称：熊本機能病院 総合リハビリテーション部

研究責任者氏名：三宮 克彦

個人情報の取扱いについて

診療情報の利用に関しては、個人情報は全て匿名化されてから解析されますので個人情報が漏れることはありません。また研究結果は、学術雑誌や学会等での発表に使用させて頂くことはありますが、その際も個人の特が可能な情報はすべて削除いたします。

上記の研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき実施しております。この研究にあなたの診療情報が利用されることに同意できない場合は対象と致しませんので、お手数ですが下記のお問い合わせ先にご連絡ください。また、ご不明な点があるとき、または研究計画等に関する資料をお知りになりたい場合は他の対象者の個人情報や研究全体に支障となる事以外はお知らせすることができますので、ご連絡くだ

さい。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用させていただくことに対して同意が得られたものとさせていただきます。また、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を被ることはありません。

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

社会医療法人寿量会 理事長 米満弘一郎

お問い合わせ先

熊本機能病院 総合リハビリテーション部 理学療法士 久保皇之

T E L : 096-345-8111(内線 2562)、F A X : 096-345-8188